

取り付け前の確認

下記の場合はTOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターへご連絡ください。

TEL ☎ 0120-8282-55 FAX ☎ 0120-8272-99

※仕様・品番・希望小売価格などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

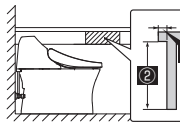
給水ホースの長さが不足している場合

給水ホースの長さは約535mmです。
給水ホースの長さが足りない場合は、右表の給水ホースをご購入ください。

給水ホース長さ(mm)	品番	希望小売価格
785	TCA249	¥2,450(税抜)

リモコンをカウンターに 取り付ける場合

カウンターに段差がある場合は、右記の専用スペーサー(リモコン用、便器洗浄リモコン用)をご購入ください。



カウンター寸法		リモコン用		便器洗浄リモコン用	
①	②	品番	希望小売価格	品番	希望小売価格
6mmまで	90mm	TCA287	¥7,500(税抜)	TCA297	¥7,500(税抜)
6~14mmまで	以上	TCA288	¥7,800(税抜)	TCA298	¥7,800(税抜)

同梱部品

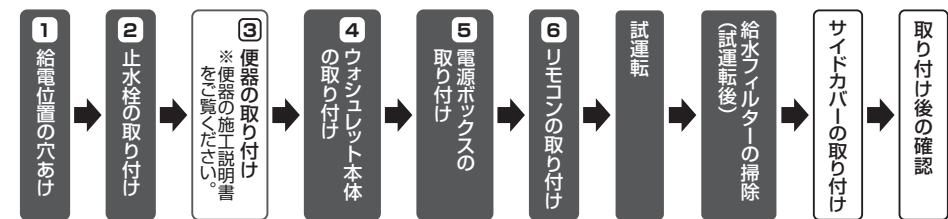
※使用しない場合は、必ずお客様にお渡しください。 ※リモコンはいずれかが同梱されています。
※必ず同梱の止水栓を取り付けてください。

リモコン部品		電源ボックス	
<p>①の場合</p> <p>リモコン(乾電池式)</p> <p>ハンガー</p> <p>単3乾電池(2個)</p> <p>ねじ①(3本)</p> <p>アンカープラグ(3本)</p> <p>ねじ②(1本)</p> <p>固定部品(1個)</p> <p>ねじ③(1本)</p>	<p>②の場合</p> <p>リモコン(埋め込み式)</p> <p>ハンガー</p> <p>単3乾電池(2個)</p> <p>ねじ①(2本)</p> <p>アンカープラグ(2本)</p> <p>ねじ②(1本)</p> <p>固定部品(1個)</p> <p>ねじ③(1本)</p> <p>ラベル(使用方法)</p> <p>取付説明書</p>	<p>カバー</p> <p>ふた</p> <p>電源ボックス本体</p> <p>ねじ④(4本)</p> <p>ねじ⑤(4本)</p> <p>アンカープラグ(4本)</p>	<p>止水栓(給水フィルター付)</p> <p>止水栓本体</p> <p>給水管</p> <p>カバー</p>
<p>位置決め治具</p> <p>フランジ付六角ナット M3(6個)</p> <p>調整ねじ M3×50(3本)</p> <p>六角穴付ボルト M3×6(2本)</p> <p>ボックスドライバー</p>		<p>取付ボルト組品</p> <p>プラグ(4本)</p> <p>ワンタッチナット(4個)</p>	<p>ロータンクパッキン</p> <p>印刷物</p> <p>①の場合</p> <p>②の場合</p>

施工手順

この施工手順に従って便器・ウォシュレットを正しく取り付けてください。

(○は便器、●は本紙の施工説明書を参照ください。)



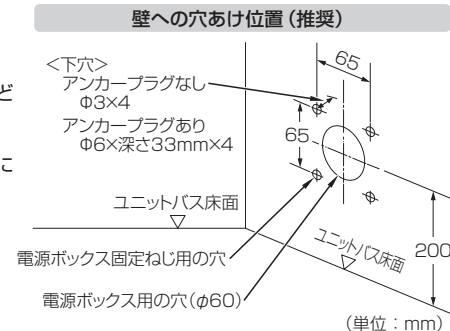
取り付けかた

- 機種によっては、製品の形状などが異なります。
- 止水栓・パッキンは必ず同梱のものを使用してください。

1 給電位置の穴あけ

1 電源ボックス用と電源ボックス固定ねじ用の穴あけ位置を決める

- 確認項目**
- 現場の壁裏配管や補強材の位置、意匠などを確認し、電源コードの届く範囲にする(電源コードの長さは約1.8mです。)
 - 高さは右図で示している推奨寸法を目安にしてください。



2 電源ボックス用と電源ボックス固定ねじ用の穴をあける

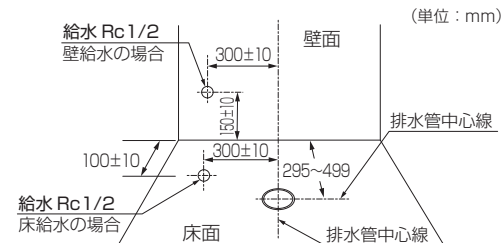
- あけた穴のバリを取ってください。

2 止水栓の取り付け

1 給水金具と排水管の位置を決める

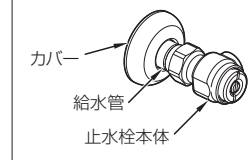
- ※給水口と排水口は、ゴミなどが入らないよう、ビニールなどをかぶせておいてください。

リモデルのときは…
便器の施工説明書の取付範囲を確認してください。

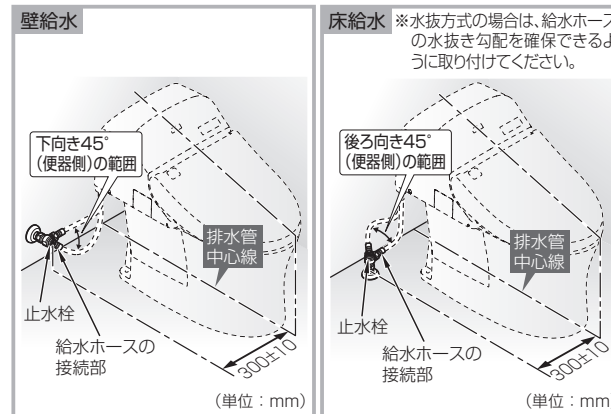


2 止水栓を取り付ける

- 注意**
- 必ず同梱の止水栓(給水フィルター付)を取り付けてください。



給水ホースがきちんとおさまるように右図の範囲で給水ホース接続部を折れ曲がらないように取り付けてください。



3 便器の取り付け

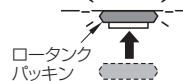
便器部の施工説明書に従い、便器を取り付ける

はじめに

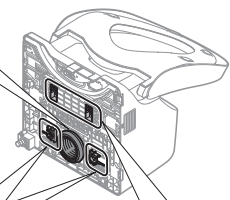
取り付けかた

4 ウォシュレット本体の取り付け

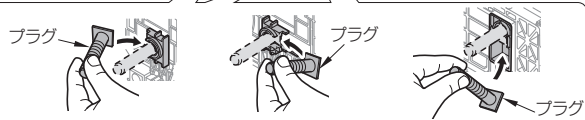
1 ウォシュレット本体底面にロータンクパッキンを取り付ける



奥まで確実に入れる
正しく取り付けないと
水漏れの原因になります。



2 ウォシュレット本体底面にプラグ (4本) を取り付ける

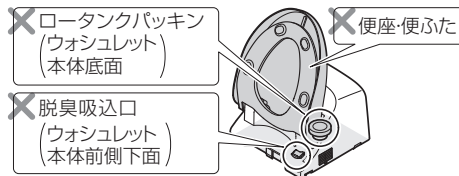


3 ウォシュレット本体を便器に取り付ける



注意

- パッキンおよび給水口周辺のゴミは必ず取り除いてください。ゴミを取り除かなかつたり、ウォシュレット本体をななめにおろすとパッキンがめくれたり、水漏れの原因になります。
- ウォシュレット本体を持ち上げるときは、下図の場所は持たないでください。下図の場所を持つと、便ふたがはずれたり、製品が破損する原因になります。

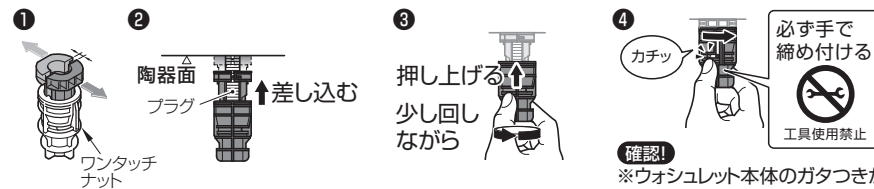


4 ワンタッチナットでウォシュレット本体を固定する (4カ所)

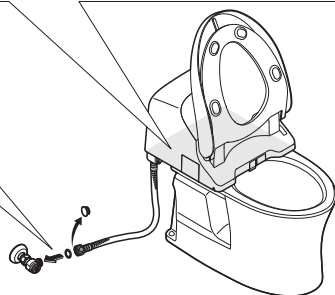
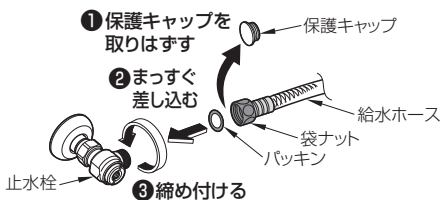
※後側2カ所を先に固定してください。その後、便座の位置に合わせて前側2カ所を固定してください。

注意

ワンタッチナットを締め付けるときは必ず手で行ってください。工具を使用すると破損の原因になります。

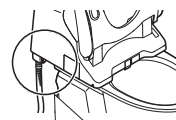


5 保護キャップを取りはずし、止水栓に給水ホースの袋ナットを締め付ける

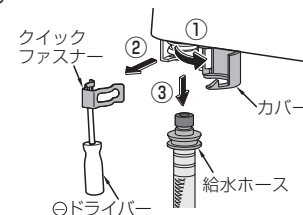


給水ホースの長さが足りない場合は、適切な長さのホースをご購入ください。
→P.4 給水ホースの長さが不足している場合 参照

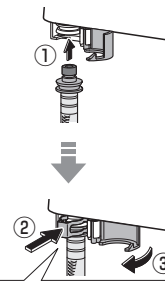
長さ違いの給水ホースを取り付ける場合



1 給水ホースを取りはずす



2 長さ違いの給水ホースを取り付ける



注意

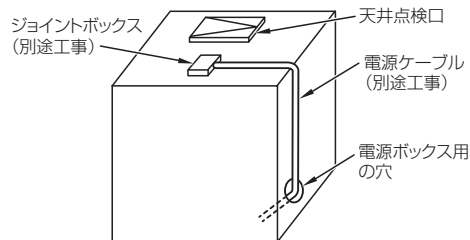
※すき間なく、奥まで差し込む



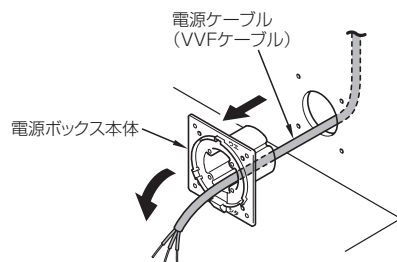
5 電源ボックスの取り付け

1 天井裏のジョイントボックスから電源ケーブル用の穴に電源ケーブル (VVFケーブル) を配線する

- 電源ボックス用の穴から出す線の長さに余裕を持たせてください。

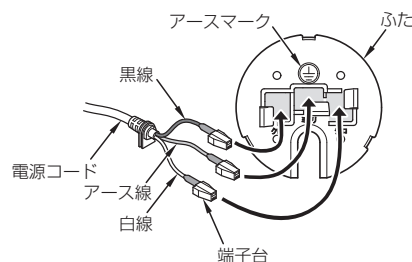
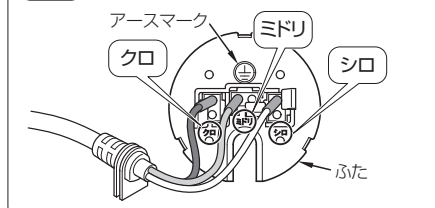


2 電源ケーブル (VVFケーブル) を電源ボックス本体に通す

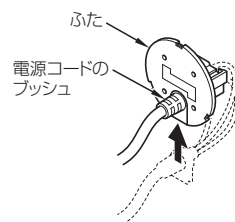


3 ウォシュレット本体の電源コードの端子台 (黒線・白線・アース線) をふたの「クロ」「シロ」「ミドリ」に正しく差し込む

注意 電源コードは図のように差し込むこと



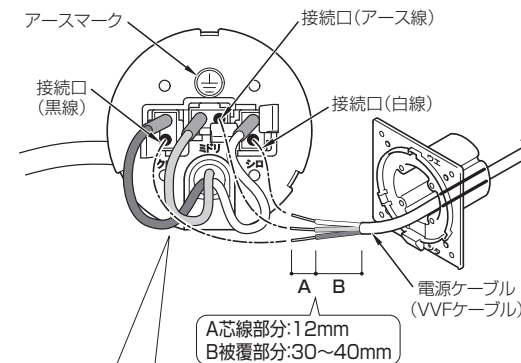
4 電源コードのブッシュをふたに差し込む



5 電源ケーブル (VVFケーブル) を端子台の接続口に差し込む

警告

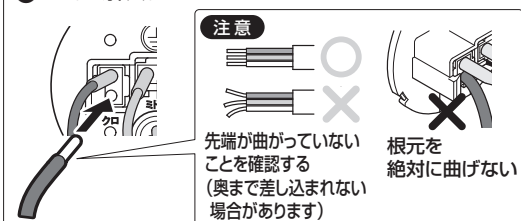
電源ケーブル (VVFケーブル) は正しい位置に根元まで差し込む (火災や感電の原因になります。)



1 先端をそろえる



2 まっすぐ挿入する



3 芯線が抜けを確認する

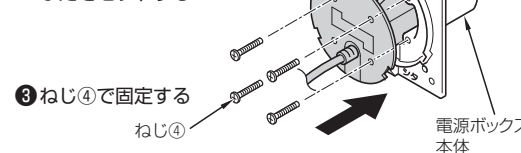
6 電源ボックス本体とふたをねじ④で固定する (4カ所)

- 内部に水が侵入しないように最後まで締め付けてください。

1 電源ボックス本体の「ウエ」表示が上側にあること確認する



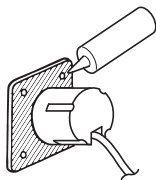
2 電源ボックス本体とふたをセットする



3 ねじ④で固定する

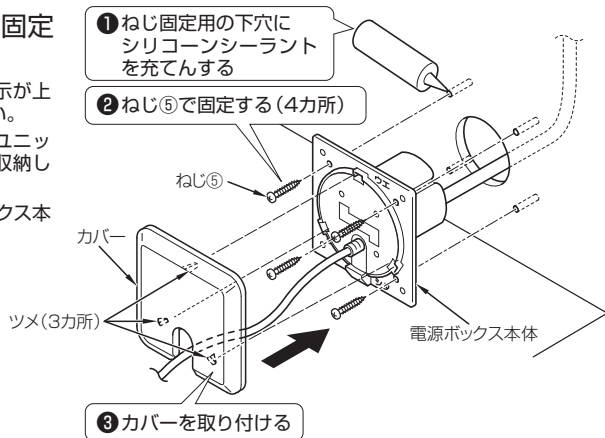
5 電源ボックスの取り付け(つづき)

- 7** 電源ボックス本体の裏面にシリコンシーラントを塗布する



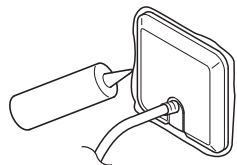
- 8** 壁に電源ボックス本体を固定する

- 電源ボックス本体の「ウエ」表示が上側にあることを確認してください。
- 電源ケーブル(VVFケーブル)はユニットバスの壁裏に入れ込むように収納してください。
- カバーのツメ(3カ所)を電源ボックス本体へ確実に固定してください。

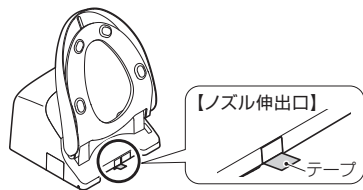


- 9** カバーの全周にシリコンシーラントを塗布する

- シリコンシーラントを塗布するときは、仕上げ面を汚さないように、マスキングテープなどを利用してください。
- シリコンシーラントがはみ出した場合は、きれいにふき取ってください。



- 10** ノズル伸出口に貼っているテープをはがす



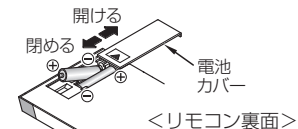
- 11** ウォシュレット本体に通電する

- ノズルがいったん出て戻る初期動作を確認してください。

6 リモコンの取り付け

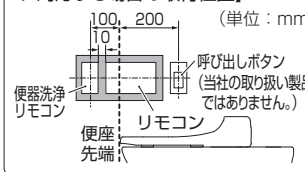
□の場合

- 1** リモコンに乾電池を入れる
●電池カバーを開き、単3乾電池を2個入れる



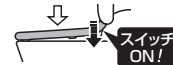
- 2** 取付位置を決める

便器洗浄リモコンの取り付けかたは、「便器洗浄リモコン取付説明書」をご確認ください。
【公共トイレ操作系JIS(JIS S 0026)に対応する場合の取付位置】



【作動の確認】

- ① 便座の右側を手で押す
- ② 「おしり」ボタンを押してノズルが伸出することを確認する
- ③ 「止」を押す
- ④ 作動しない場合
→リモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認
※下記の場合、リモコンの受信性能が変わり、ウォシュレット本体が作動しないことがあります。
 - 室内の広さ、壁、材質などの条件が合わないとき
 - 黒っぽい天井や壁のとき
 - インバーター方式の照明下のとき



カウンターエプロンタイプに取り付ける場合

- 取付位置の高さはカウンターによって異なります。
- カウンターに段差がある場合、専用のスペーサーが必要です。取り付け前にカウンターの寸法を確認してください。→P.4 リモコンをカウンターに取り付ける場合 参照
- 専用スペーサーの取り付け方法は、スペーサー同梱の取付説明書をご覧ください。



- 3** ハンガーを取り付ける

1 ハンガーを壁に取り付ける

<下穴>
アンカープラグなし
Φ3×3
アンカープラグあり
Φ6×深さ33mm×3

2 リモコンに固定部品を取り付けてセットする

リモコン裏面

固定部品
固定部品
取付位置

固定部品
ねじ②
ドライバー

3 ハンガーとリモコンをねじ③で固定する

ハンガー

リモコン

ねじ③

ねじ固定用の下穴にシリコンシーラントを充てんする

アンカープラグ(石膏ボードやタイルの壁の場合)

ハンガー

□の場合 ホテル用リモコン施工説明書に従い、リモコンを取り付ける

取り付けかた

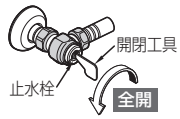
試運転 (各項目を確認後、□に✓してください)

●試運転の前および試運転完了時は必ず通電されていることを確認してください。
(ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプが点灯します。)

機能の確認

止水栓を開ける

※付属の開閉工具を使用してください。作業が完了したら、必ずお客様にお渡しください。
※タンク給水中「ヒュー」という音がする場合は、給水圧が高くなっていますので、音が鳴らなくなるまで止水栓を少し右へ回してください。
※万一、水漏れがあれば再施工を行い、水漏れを止めてください。



止水栓 開閉工具 全開

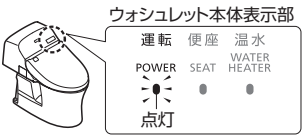
水漏れチェック
⇒水漏れする場合

同梱部品を使用していますか

パッキン
※新しいものを使用しないと、水漏れの原因になります。


運転ランプが点灯していますか

ウォシュレット本体表示部



運転 便座 温水 WATER SEAT HEATER
点灯

リモコンの水勢ランプが点灯していますか



点灯

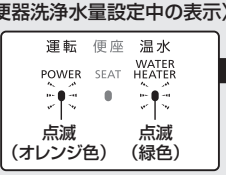
便器洗浄水量の設定を行いましたか

●本製品は、最初の便器洗浄時に自動で使用環境の水圧条件を計測し、便器洗浄水量を設定します。

リモコンの **大** または、 **流す** ボタンを押す

→ **設定開始**

＜便器洗浄水量設定中の表示＞



運転 便座 温水 WATER SEAT HEATER
点滅 (オレンジ色) 点滅 (緑色)

設定完了

運転 便座 温水 WATER SEAT HEATER
点灯 (緑色)

次のような場合は、正しく設定できておりません。
(一定時間で通常の表示に戻ります。)

- 製品からの電子音「ピーツ、ピーツ」
- 本体表示部点滅

一度設定を解除してから、もう一度、設定しなおしてください。解除方法は下記をご確認ください。

設定解除方法

□ の場合

- 止 と 流す を同時にリモコンランプすべてが点滅するまで押す (約10秒)
- 便座 を約5秒以上押す → 「ピーツ」という電子音が鳴る
- 止 を押す
- 大 を押す

○ の場合

- 水勢 設定 と 流す を同時に押す (約10秒) → 水勢ボタンすべてが点灯 → ボタンから手を離すと、すべてが点滅
- 水勢 設定 を約5秒以上押す → 「ピーツ」という電子音が鳴る
- 止 を押す
- 水勢 設定 を押す

設定中は…

- お風呂や洗面器などの水を使用しない (お客様にもお伝えください。)
- すべてのボタンを押さない
- 止水栓を開閉しない

正しく洗浄水量の設定ができない原因になります。

自動で3回または6回連続で便器洗浄し、完了するまで最大約5分かかります。

機能の確認 (つづき)

便器洗浄時にウォシュレット本体底面から水漏れなどの異常がないかを確認しましたか


自治体による洗浄水量の規制に合った水量設定を行いましたか

水たまり面が低下していませんか

大洗浄をしたあと、水たまり面の状態を確認してください。※「自治体によって洗浄水量の規制がある場合」の設定をしている場合は、この設定は不要です。


⇒詳しくは、表紙 **工事店様へ 確認②** 参照

設定変更は不要です。



正常な水たまり面
この面まで水がたまっている

設定変更を行ってください。



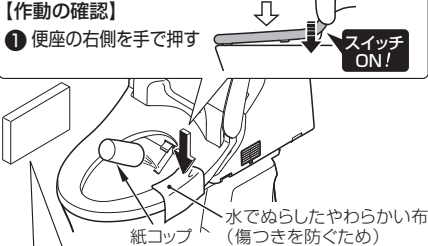
水たまり面が低い
設定変更のしかた
下記「水たまり面が低下した場合の変更方法」をご確認ください。

ノズルから洗浄水が出ますか

●温水タンクが空のときは、吐水するまで約1分かかります。

【作動の確認】

① 便座の右側を手で押す



スイッチ ON!

紙コップ
水でぬらしたやわらかい布 (傷つきを防ぐため)

② 「おしり」ボタンを押す (水は紙コップなどで受けてください。)

③ 「止」を押す

洗浄水量の切り替え (リモコンで行ってください)

洗浄水量の切り替え

自治体によって洗浄水量の規制がある場合

●大洗浄4.8L、小洗浄3.6L仕様を下記
の水量に変更することができます。

和洋リモコン工法の場合

●大洗浄4.8L、小洗浄3.6L仕様を「大洗浄6L、小洗浄5L」仕様に変更してください。

□ の場合

- 止 と 流す を同時にリモコンランプすべてが点滅するまで押す (約10秒)
- 大洗浄6L、小洗浄5L 仕様への切り替え方法
水勢 設定 と 1 を同時に押す → 「ピーツ」という電子音が鳴る
- 止 を押す

○ の場合

- 水勢 設定 と 水勢 を同時に押す (約10秒) → 水勢ボタンすべてが点灯 → ボタンから手を離すと、すべてが点滅
- 大洗浄6L、小洗浄5L 仕様への切り替え方法
水勢 設定 と 水勢 を約5秒以上押す → 「ピーツ」という電子音が鳴る
- 大洗浄8L、小洗浄6L 仕様への切り替え方法
水勢 設定 と 水勢 を約5秒以上押す → 「ピーツ」という電子音が鳴る
- 止 を押す

(もとの仕様に戻すときは同じ操作を行い、②で「ピーツ」という電子音が鳴れば設定完了です。)
※変更した場合、便器洗浄してから約1分後に便器水たまり面の高さを戻すために水を補給します。

水たまり面が低下した場合の変更方法

●大洗浄4.8L、小洗浄3.6Lの洗浄水量は変わりません。

□ の場合

- 止 と 流す をリモコンランプすべてが点滅するまで押す (約10秒)
- 水勢 設定 と 1 を同時に押す → 「ピーツ」という電子音が鳴る
- 止 を押す

○ の場合

- 止 と 水勢 を同時に押す (約10秒) → 水勢ボタンすべてが点灯 → ボタンから手を離すと、すべてが点滅
- 水勢 設定 と 水勢 を約5秒以上押す → 「ピーツ」という電子音が鳴る
- 止 を押す

(もとの仕様に戻すときは同じ操作を行い、②で「ピーツ」という電子音が鳴れば設定完了です。)
※変更した場合、便器洗浄してから約1分後に便器水たまり面の高さを戻すために水を補給します。

12

13

試運転他